

巡回バスにおける通勤・通学実証実験の実施について

1 概要

- 当市の人口動態の特徴として、若年層が名古屋市に転出する傾向があり、通勤・通学が不便であることも要因の一つとして考えられる。
- また、令和6年度に実施した巡回バスにおける通勤・通学時の運行等に関する市民、市内企業、市内高校生に対するアンケート調査において、通勤・通学時の巡回バスの運行について、一定のニーズがあった。
- 以上のことから、巡回バスの通勤・通学対応の実証実験を実施し、今後のバスの見直しにおけるダイヤ・ルートの参考とする。

2 アンケート調査の結果

- (1) 津島高校までの通学利用について、利用したいとの回答が津島高校生全体の約4割。
- (2) 通勤・通学での巡回バスの利用希望について、西小学校区が最多で、次いで神島田小学校区となっている。
- (3) 運行開始時間帯の拡大希望について、Aコースの8時が最多で、次いでBコースの7時となっている。また、運行終了時間帯の拡大は、Aコースの19時が最多で、次いでBコースの19時となっている。
- (4) 通勤・通学で巡回バスを利用したい人の自宅を出発する時間帯について、7～8時が最多で、帰宅する時間帯は18～19時が最多となっている。

3 実証実験の具体的内容

(1) 運行コース

- ① 津島駅を起点に、津島高校付近及び西小学校区を經由し、津島駅を終点とするコース
- ② 青塚駅と永和駅との区間を往復するコース

(2) 実施期間

- ① 令和7年11月4日（火）から12月26日（金）まで
- ② 令和8年1月13日（火）から3月6日（金）まで

(3) 運行拡大時間帯

6時台、7時台、8時台の朝便及び17時台、18時台、19時台の夕方便を設定する。

(4) 運行車両

- ・現在運行している2台のバスでは車両が不足するため、1台リースを予定。
- ・車両は乗車定員31人程度を想定。

(5) その他

- ・通勤・通学者の利便性向上のため、デジタルチケットでの定期券の導入を検討。
※ デジタルチケットとは、オンラインで購入し、スマートフォンに表示させるチケットのこと。
- ・財源として、国の交付金である新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用予定。